

---

## ご挨拶

---

かつて2021年度の「ご挨拶」では、本学博物館の創設からの歩みを子どもの成長になぞらえ、無事に5年目の節目を迎えられたことを「七五三」の文化史的な意味に重ね合わせて述べました。「七五三」は、もともとは医療技術や環境が整っていなかったために乳幼児の死亡率が非常に高かった明治時代以前に行われていた、子どもの無事な成長を神に祈念する三つの通過儀礼が一つになったものです。新生児誕生直後の初宮参りでその後の成長を氏神に祈願することに始まり、更に3歳、5歳、7歳にチェックポイントをもうけ、7歳まで子どもが無事に過ごせたならばひとまず安心で、その後の成長についてはそれまでほどの心配は必要ないと考えられたのです。

そして今年度、本学博物館も7年目を迎え、新型コロナの5類移行に伴い、取り戻しつつある日常の中で、様々な試みを行ってきました。展覧会では2023年4月20日（木）から6月17日（土）にかけて企画展「明治のきもの－シックでおしゃれな装いの美－」を開催し、明治時代の着物に明治時代の帯を取り合わせてマネキンに着装するという初の試みを行いました。作品の保存上躊躇するところはありませんでしたが、今後の学術的活用のためにカメラマンに依頼して撮影も行いました。

10月2日（月）から12月2日（土）にかけては、企画展「La Moda : Fortuny e Gallenga –ふたりのファッション・デザイナー－」を開催し、多くの観覧者にお運びいただきました。

また今年度は、博物館法の改正に伴い、登録博物館申請のための準備に追われた年度でもありました。これはすべての美術館・博物館が新たに審査を受け、「登録博物館」として認可されるか、「認定施設」として認定されるかを選ばなければならないというもので、設備が条件を満たしていることはもとより、展覧会実績なども含めて厳正に判断されるもので、本学博物館は今年度、東京都に対して認可申請を行いました。結果は年度明けになるでしょうが、ぜひとも審査に合格して格式ある「登録博物館」になりたいと考えています。

なお私事ではありますが、開館以来7年にわたって館長を務めさせていただきましたが、私自身も7年目を迎えた本学博物館の成長を見届けた今年度いっばいで、お役御免、定年退職となります。博物館ともども応援をいただきました皆様には心より感謝申し上げます。

共立女子大学博物館長  
長崎 巖

---

## 沿革

---

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 2015年 4月 1日     | 博物館プロジェクト設置        |
| 2016年 10月 1日    | 開館                 |
| 2016年 10月 8日    | 開館記念展開会式・特別内覧会     |
| 2017年 7月 31日    | 博物館相当施設指定          |
| 2018年 3月        | 「共立女子大学博物館年報／紀要」刊行 |
| 2021年 10月 1, 2日 | 開館5周年記念展内覧会        |

2023

## 共立女子大学博物館年報 / 紀要

Kyoritsu Women's University Museum Annual Report & Bulletin

### 目次 contents

#### 年報

1. 展示 .....	4
2. 教育研究・利用支援	
1) 資料貸出 .....	12
2) 特別利用 .....	12
3) 団体利用 .....	13
4) 博物館実習 .....	13
3. 資料管理	
1) 資料収集 .....	14
2) 環境調査 .....	14
3) その他 .....	14
4. 運営・組織	
1) 博物館規程類 .....	15
2) 組織・委員会 .....	16
3) 施設概要 .....	16
4) 利用案内 .....	17

#### 紀要

・ 徳島城博物館所蔵・蜂須賀家伝来染織品調査報告 長崎巖 .....	21
・ 旗・幕及び一つ身に見られる清明九字叶の飾り縫いに関する研究 関智子 .....	51

共立女子大学博物館紀要投稿内規

# 1. 展示関連

## 1. 企画展 明治のきもの—シックでおしゃれな装いの美—

開館期間：2023年4月20日（木）～6月17日（土） 47日間

前期：4月20日（木）～5月20日（土） 後期：5月23日（火）～6月17日（土）

入館者数：1337名（学内483名・学外869名）

### 【概要】

本展では、明治時代のきものを中心に、帯留といった装身具や絵画資料などを交えながら、当時のシックでおしゃれな世界を紹介しました。明治時代に入っても、人々は江戸時代と変わらず「きもの」を着用していましたが、そこに見られる表現や技法は、さまざまな影響を受けながら少しずつ変化していました。一部資料は、きものと帯、装身具をコーディネートし、マネキンへの着装による再現展示を行いました。

### 【関連事業】

#### ・講演会

「明治時代の帯留」

講師：高須奈都子氏（大阪商業大学非常勤講師）

開催日：2023年5月20日（土） 14:00～15:30

参加者：50名

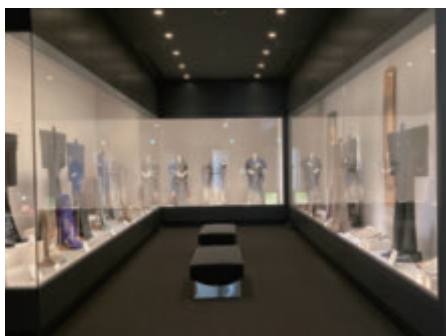
#### ・ギャラリートーク

講師：石原ひなの（当館学芸員）

開催日：①5月10日（水）12:50～ ②6月12日（月）12:50～

参加者：①22名 ②38名

### 【展示風景】



【講演会】



ポスター製作者  
家政学部 建築・デザイン学科  
デザインコース 大石莉沙

展示品目録

< 前期展示 >

資料名	時代	種別
『□印 模様雛形』	明治前期～中期・19世紀後半	友禅染見本帳
『新模様本』	明治前期～中期・19世紀後半	友禅染見本帳
友禅染見本帳	明治前期～中期・19世紀後半	友禅染見本帳
『飛印 全』	明治前期～中期・19世紀後半	色見本帳
色見本帳	明治前期～中期・19世紀後半	色見本帳
『●印色見本』	明治32年(1899)	色見本帳
『見本帖』字印	明治中期～後期・19～20世紀	色見本帳
雀踊り	明治～大正・20世紀	帯留・銘「榮湖」
菊枝	明治～大正・20世紀	帯留・銘「尚光」
鯉図軸物	明治・19世紀	帯留
桜蛤	明治・19世紀	帯留
七曜紋	明治・19世紀	帯留
結び文	明治～大正・20世紀	帯留・銘「三つ代」
柴舟	明治～大正・20世紀	帯留
波頭	明治～大正・20世紀	帯留
大原女	幕末～明治・19世紀	帯留
兎と鶏	明治・19世紀	帯留
花形	明治・19世紀	帯留
連獅子	明治・19世紀	帯留
蝶	明治～大正・20世紀	帯留
梅と水仙	明治～大正・20世紀	帯留
春駒	明治～大正・20世紀	帯留・銘「芳民」
牡丹	明治～大正・20世紀	帯留・銘「利親」
鮎	明治～大正・20世紀	帯留
娘と子供	明治～大正・20世紀	帯留
牡丹鶴模様扇	明治・19世紀	帯留
打ち出の小槌	明治～大正・20世紀	帯留
波に貝	明治～大正・20世紀	帯留
狐	明治～大正・20世紀	帯留・銘「嵩廣」
濃茶地山道鶴菊唐草模様錦帯	明治後期・20世紀	帯
紫染め分け変り斜子地蓬萊模様振袖	明治中期・19世紀後半	着物
『きぬくらべ』	明治40年(1907)	きもの雛形本・芸艸堂発行
鼠縮緬地山水風景雀模様着物 (渋沢栄一夫人・千代子所用)	明治中期・19世紀後半	着物
薄茶地松模様錦帯	明治後期・20世紀	帯
納戸縮緬地朽葉模様着物	明治後期・20世紀	着物
鼠紹地流水鮎藻模様単衣	明治前期・19世紀後半	着物
濃鼠綾地合歡模様着物	明治中期・19世紀後半	着物
黒地葛模様単衣	明治中期・19世紀後半	着物
紫平絹地菊竹模様振袖	明治後期・20世紀	着物
黒平絹地風景模様着物(襲付き)	明治後期・20世紀	着物
白地鳳凰模様錦帯	明治～大正・20世紀	帯
濃紫縮緬地葉鶏頭笹模様着物(襲付き)	明治後期・20世紀	着物
赤変り織地牡丹桜蝶模様振袖	明治後期・20世紀	着物
鼠変り織地流水牡丹模様振袖	明治中期・19世紀後半	着物
薄萌黄松皮菱若松笹模様錦帯	明治前期～中期・19世紀後半	帯
鼠縮緬地水辺風景模様着物	明治前期・19世紀後半	着物
薄浅黄地雅楽器松菊模様縹珍帯	明治中期・19世紀後半	帯

資料名	時代	種別
鼠平絹地蔦模様振袖	明治中期・19世紀後半	着物
鶉茶地松葉模様錦帯	明治後期・20世紀	帯
姉妹図	明治中期・19世紀後半	掛軸・絹本彩色
鼠縮緬地花唐草雪輪桜花模様着物	明治中期・19世紀後半	着物
金地松紅葉波模様錦帯	明治後期・20世紀	帯
紫縮緬地牡丹蝶模様振袖	明治後期・20世紀	着物
白地草花模様錦帯	明治後期・20世紀	帯
姉妹図	明治中期・19世紀後半	掛軸・絹本彩色
鼠斜子地松竹梅模様振袖	明治後期・20世紀	着物
薄茶麻地波燕模様単衣	明治後期・20世紀	着物
『花のかけ 五』	明治33年(1900)	きもの雛形本・上野清江著
『八千草 巻参』	明治34年(1901)	きもの雛形本・上野清江著
菊模様鼈甲櫛	明治・19世紀	櫛
菊模様簪	明治・19世紀	簪
桐模様簪	明治・19世紀	簪
遠望美人図	明治中期・19世紀後半	掛軸・絹本彩色
濃鼠絹縮地雪輪桜花模様花杵模様着物(襲付き)	明治前期・19世紀後半	着物
萌黄地扇散模様繡珍帯	明治前期・19世紀後半	帯
菊菖模様蒔絵櫛	明治・19世紀	櫛
秋草模様蒔絵筭	江戸～明治・19世紀	筭
三笠山模様蒔絵櫛	明治～大正・20世紀	櫛
流水菊模様蒔絵筭	江戸～明治・19世紀	筭
『花のかけ』	明治32年(1899)	きもの雛形本・上野清江著

< 後期展示 >

資料名	時代	種別
『□印 模様雛形』	明治前期～中期・19世紀後半	友禅染見本帳
『新模様本』	明治前期～中期・19世紀後半	友禅染見本帳
友禅染見本帳	明治前期～中期・19世紀後半	友禅染見本帳
『飛印 全』	明治前期～中期・19世紀後半	色見本帳
色見本帳	明治前期～中期・19世紀後半	色見本帳
『●印色見本』	明治32年(1899)	色見本帳
『見本帖』 宇印	明治中期～後期・19～20世紀	色見本帳
中秋の名月	明治～大正・20世紀	帯留
波千鳥	明治～大正・20世紀	帯留
鳳凰	明治～大正・20世紀	帯留・銘「貞珉」
狗	明治～大正・20世紀	帯留・銘「貞高作」
七曜紋	明治・19世紀	帯留
花菱	明治・19世紀	帯留
紫陽花	明治・19世紀	帯留
娘と子供	明治～大正・20世紀	帯留
牡丹	明治～大正・20世紀	帯留・銘「利親」
三保の松原	明治～大正・20世紀	帯留・銘「寛亭」
菊模様扇	明治～大正・20世紀	帯留
連獅子	明治・19世紀	帯留
打ち出の小槌	明治～大正・20世紀	帯留
獅子舞	明治～大正・20世紀	帯留・銘「勝平」
菊花	明治～大正・20世紀	帯留・銘「雪雄」
杜若模様団扇	明治～大正・20世紀	帯留・銘「利正」



資料名	時代	種別
菊	明治～大正・20世紀	帯留・銘「春邦」
菊枝	明治～大正・20世紀	帯留・銘「尚光」
桜	明治～大正・20世紀	帯留・銘「則長」
祝い杯	明治～大正・20世紀	帯留
羽根	明治～大正・20世紀	帯留
濃茶地山道鶴菊唐草模様錦帯	明治後期・20世紀	帯
紫染め分け変り斜子地蓬萊模様振袖	明治中期・19世紀後半	着物
『きぬくらべ』	明治40年(1907)	きもの雛形本・芸艸堂発行
薄縹縮緬地松竹梅鶴亀模様着物	明治中期・19世紀後半	着物
鼠縮緬地風景模様振袖	明治前期・19世紀後半	着物
『花のかけ 弐』	明治33年(1900)	きもの雛形本・上野清江著
鼠縮緬地四季風景模様着物	明治前期・19世紀後半	着物
濃鼠綾地合歡模様着物	明治中期・19世紀後半	着物
鼠紹地雲模様単衣	明治前期・19世紀後半	着物
浅葱平絹地葦鶴模様着物	明治後期・20世紀	着物
『八千草 巻四』	明治34年(1901)	きもの雛形本・上野清江著
白地鳳凰模様錦帯	明治～大正・20世紀	帯
紅綾地御簾几帳琴菊牡丹萩模様着物	明治中期・19世紀後半	着物
『花印』	明治時代中期・19世紀後半	友禅染見本帳
黒縮緬地松菊模様着物	明治後期・20世紀	着物
薄茶平絹地海老貝熨斗蝶模様着物	明治中期・19世紀後半	着物
濃萌黄地扇散模様錦帯	明治前期・19世紀後半	帯
鼠平絹地雪持松竹梅模様振袖	明治中期・19世紀後半	着物
鶯茶地松葉模様錦帯	明治後期・20世紀	帯
鼠平絹地王朝風景模様着物(襲付き)	明治中期・19世紀後半	着物
藍地松竹梅水車小屋模様縹珍帯	明治中期・19世紀後半	帯
『美人着装図』	明治前期・19世紀後半	掛軸・絹本彩色
濃茶地鳶模様帯	明治時代後期・20世紀	帯
濃鼠麻地竹模様単衣	明治前期・19世紀後半	着物
『天印』	明治中期・19世紀後半	型染見本帳
『舞妓図』	明治後期・20世紀	掛軸・絹本彩色
『八千草 巻九』	明治35年(1902)	きもの雛形本・上野清江著
紫縮緬地菊模様振袖	明治後期・20世紀	着物
白地草花模様錦帯	明治後期・20世紀	帯
牡丹鶴模様扇帯留	明治・19世紀	帯留
菊模様籠甲櫛	明治・19世紀	櫛
菊模様簪	明治・19世紀	簪
桐模様簪	明治・19世紀	簪
遠望美人図	明治中期・19世紀後半	掛軸・絹本彩色
濃鼠絹縮地雪輪桜花模様花杵模様着物(襲付き)	明治前期・19世紀後半	着物
萌黄地扇散模様縹珍帯	明治前期・19世紀後半	帯
菊葛模様蒔絵櫛	明治・19世紀	櫛
秋草模様蒔絵筥	江戸～明治・19世紀	筥
三笠山模様蒔絵櫛	明治～大正・20世紀	櫛
流水菊模様蒔絵筥	江戸～明治・19世紀	筥
『花のかけ』	明治32年(1899)	きもの雛形本・上野清江著

## 2. 企画展 La Moda: Fortuny e Gallenga –ふたりのファッション・デザイナー–

開館期間：2023年10月2日（月）～12月2日（土） 50日間

入館者数：1130名（学内411名・学外737名）

### 【概要】

本展では、ファッションの歴史における大きな転換点となった20世紀初頭に活躍した二人のデザイナー、マリアノ・フォルチュニおよびマリア・モナチ・ガレンガに焦点をあてました。ドレスやコートといった二人の作品を中心に、同時代のハンドバッグや、彼らの制作活動に影響を与えたとされる日本の染型紙といった資料も併せて紹介しました。

### 【関連事業】

・ワークショップ

「100年前にタイムスリップ！ーリボンでアクセサリーをつくろうー」

講師：石原ひなの（当館学芸員）・当館アシスタント

開催日：2023年11月18日（土） ① 11:00～ ② 14:00～

参加者：9名

【おしゃべり展示室ポスター】

・「おしゃべり展示室」

「鑑賞を深める3つの質問」

- ① 一推しの作品は？
- ② 気になった箇所は？
- ③ 1つ手に入るとしたらどれがいい？

展示室前に掲示コーナーを設置し、それぞれの質問に対する回答を来館者がふせんに記入・貼付して、他の来館者との意見交換ができるようにした。

また、展示室内での家族や友人との会話も推奨した。



【展示風景】



ポスター製作者  
家政学部 建築・デザイン学科  
デザインコース 端茜里

・ギャラリートーク

講師：石原ひなの（当館学芸員）

開催日：① 10月26日（木）12:50～

② 11月22日（水）12:50～

参加者：① 16名 ② 7名

【ワークショップ】





## 展示品目録

資料名	時代	備考
コルセット	1820～40年代頃	木綿
コルセット	1870年代頃	絹
『Corriere delle Dame』	1846年	ファッション・プレート
『La Nobita』	1870年	ファッション・プレート
『La Nobita』	1871年	ファッション・プレート
ヘッドスカーフ	1930年代	エルザ・スキヤパレリ
帽子	1930年代	エルザ・スキヤパレリ
花束型灰皿	1920年代頃	ルネ・ラリック
鳥型置物	1920年代頃	ルネ・ラリック
パウダーボックス「ドガ」	1920年代頃	ルネ・ラリック
ペーストブローチ「波」	20世紀	
デルフォス（赤色）	1920～30年代頃	絹サテン マリアノ・フォルチュニ
デルフォス（紫色）	1920年代	絹サテン マリアノ・フォルチュニ
デルフォス（マッシュルーム色）	1920年代	絹サテン マリアノ・フォルチュニ
デルフォス（ページェピンク色）	1920年代	絹サテン マリアノ・フォルチュニ
コート	1920年代	絹ゴーズ マリアノ・フォルチュニ
デルフォス（ペプロス風・薄茶色）	1920年代	絹サテン マリアノ・フォルチュニ
デルフォスケース	KCI所蔵品をもとに複製	調査協力：公益財団法人京都服飾文化研究財団（KCI）
コート（コプト風）	1910～20年代	絹サテン マリアノ・フォルチュニ
コート（トルコ風）	1920年代	絹ベルベット マリアノ・フォルチュニ
コート（キモノ風）	1910～20年代頃	絹ベルベット マリアノ・フォルチュニ
チュニック	1910～20年代	絹クレープ マリアノ・フォルチュニ
コート	1930年代	絹ベルベット マリアノ・フォルチュニ
デルフォス（赤色）	1920年代頃	絹サテン マリアノ・フォルチュニ
コート	1920～30年代	絹ベルベット マリアノ・フォルチュニ
デルフォス（薄茶色）	1920年代	絹サテン マリアノ・フォルチュニ
ガウン	1930年代	絹ベルベット マリアノ・フォルチュニ
デルフォス（青色）	1920年代	絹サテン マリアノ・フォルチュニ
染型紙「蔓草模様」	明治後期・20世紀前半	個人蔵
染型紙「草花七宝模様」	明治中期・19世紀後半	個人蔵
染型紙「菊唐草模様」	江戸～明治・19世紀後半	個人蔵
染型紙「柰目模様」	明治後期・20世紀前半	個人蔵
イヴニング・ドレス	1920年代	絹ベルベット 伝マリア・モナチ・ガレンガ
コート	1910年代	絹ベルベット 伝マリア・モナチ・ガレンガ
デルフォス（青緑色）	1920年代	絹サテン マリアノ・フォルチュニ
ドレス	1920年代	絹ベルベット・絹サテン マリアノ・フォルチュニ
ドレス	1920年代	絹ベルベット マリア・モナチ・ガレンガ
コート	1920年代	絹ベルベット マリア・モナチ・ガレンガ
「水車小屋」（参考画像）	19世紀後半	エッチング エドワード・バーン＝ジョーンズ
コート	1920年代	絹ベルベット 伝マリア・モナチ・ガレンガ
ハンドバッグ	1920年代	6点
「Welcome to the House」	19世紀後半	リトグラフ エドワード・バーン＝ジョーンズ
コート	1920年代頃	絹ベルベット マリア・モナチ・ガレンガ
テキスタイル	1925年頃	絹ベルベット マリアノ・フォルチュニ

### 3. コレクション展 和と洋が会える博物館 共立女子大学コレクション・9

開館期間：2024年1月9日（火）～3月23日（土） 54日間

入館者数：392名（学内308名・学外89名）※3月13日時点

#### 【概要】

本展は、当館の特色である【和】と【洋】の文化の歴史と美の世界をお楽しみいただけるよう、これまで公開されていない作品を中心に本学の美術資料を順次公開していく展覧会となっています。本学では本年度から建築・デザイン学部が開設されたことによせて、生活の中で使われるために生み出されたものを集めて展示しました。【和】の世界では、夜着や一つ身といった染織品、漆工品のほか、旧加賀藩主前田家旧蔵の銀食器類をご紹介します。【洋】の世界では、ビーズワークやエプロンといった19世紀ヨーロッパの資料を中心にご紹介しました。

#### 【展示風景】



ポスター製作者  
家政学部 建築・デザイン学科  
デザインコース 端茜里

## 展示品目録

資料名	時代	備考
“Le Castel Béranger.”	1899年	エクトール・ギマール
香水瓶（4点）	19世紀	ヨーロッパ
香水キャビネット	19世紀半ば	ヨーロッパ
加賀前田家旧蔵銀食器類	昭和初期・20世紀	
室内着	19世紀後半～20世紀前半	ヨーロッパ
室内着	1820～1830年代	イギリス
クリノリン	19世紀半ば	ヨーロッパ
Le Journal des Dames et des Demoiselles	1856～1857年	フランス
カシミア・ショール	1850年頃	フランス
カシミア・ショール	19世紀	インド
クッション（バラとオウム柄）	19世紀	ヨーロッパ ビーズワーク
クッション（紋章柄）	19世紀	ヨーロッパ ビーズワーク
レッグスツール	19世紀	ヨーロッパ ビーズワーク
ブラシとちりとり	19世紀	ヨーロッパ ビーズワーク
バスケット	19世紀	ヨーロッパ ビーズワーク
ブランケットホルダー（旅行用）	19世紀	ヨーロッパ ビーズワーク
葉巻入れ	19世紀	ヨーロッパ ビーズワーク
マッチ入れ	19世紀	ヨーロッパ ビーズワーク
葉巻カッター	19世紀	ヨーロッパ ビーズワーク
ボックス	19世紀	ヨーロッパ ビーズワーク
額縁	19世紀	ヨーロッパ ビーズワーク
鉛筆付きボード	19世紀	ヨーロッパ ビーズワーク
葫蘆提籃（煎茶野点用茶箱）	江戸時代・18世紀	伝水戸徳川家
扇蒔絵硯箱	江戸時代・18世紀	
御簾几帳蒔絵文台	明治時代・19世紀	
白綾地蓬萊紋付一つ身	江戸時代・19世紀前半	
黒綸子地扇菊模様一つ身	明治後期・20世紀前半	
鼠平絹地梅樹笹模様一つ身	明治時代・19世紀	
藤色平絹地菊模様一つ身	大正時代・20世紀	
紺木綿地桐鳳凰模様夜着	明治時代・19世紀後半	

## 2. 教育研究・利用支援

### 1) 資料貸出

資料	申請者	貸出期間	備考(展示名)
貞明皇后御料・トルソー 計3点	港区立郷土歴史館	2023年9月下旬～12月中旬	令和5年度特別展「ある図案家の仕事―宮中の染織デザイン―」
小袖裂・四つ身振袖 計3点	丸紅ギャラリー	2023年12月下旬～2024年3月上旬	企画展「「ふしみ殿御あつらえ」小袖裂と復元小袖―墨書と裂からわかる桃山時代の小袖制作―」
衣桁・伸子 計6点	静嘉堂文庫美術館	2024年1月11日～2024年4月10日	「岩崎家のお雛さま」

### 2) 特別利用

申請者	利用区分	資料利用期間	備考
ハースト婦人画報社	画像利用	2023/2/1～5/20	『美しいキモノ』2023年春号「きものカフェ」にて当館展示をご紹介いただくため
宮内庁 太田彩	画像利用	2023/2/7～4/30	石川県加賀刺繍協同組合編『加賀繻の歴史と未来(仮)』に掲載する論文図版のため
下田歌子記念女性総合研究所	画像利用	2023/5/15～6/2	展覧会「下田歌子と結婚」で使用するため
ハースト婦人画報社	画像利用	2023/04/15～	婦人画報ウェブサイトにて当館展示を紹介いただくため
港区立郷土歴史館	熟覧	2023/05/09	令和5年度特別展「ある図案家の仕事―港区のものづくりと、図案帖『國華』―(仮題)」における資料借用の事前調査のため
ハースト婦人画報社	画像利用	2023/4/18～8/19	ハースト婦人画報社 雑誌「美しいキモノ」夏号(5/20発売) 情報ページ「キモノカフェ」内 インフォメーションにて展覧会紹介記事作成のため
トゥーヴァージンズ	画像利用	2023/5/26～	『東京のワクワクする大学博物館めぐり』にて紹介のため
ハースト婦人画報社	画像利用	2023/5月～	婦人画報ウェブサイトにて当館展示を紹介いただくため
文化学園大学・文化ファッション研究機構 吉村紅花	画像利用	2023/10/14	10月14日に開催の文化学園服飾博物館主催「日本の洋装化と文化学園のあゆみ」展オンライン講演会において使用パワーポイントへの掲載のため
港区立郷土歴史館	画像利用	2023/7/20～12/10	令和5年度特別展「ある図案家の仕事―宮中の染織デザイン―」への出品にともなう図録掲載およびパネル作成のため
共立女子大学・短期大学 学生支援課	画像利用	2023/8/1～	海外向けの広報紙の作成にあたって、本学の施設紹介ページへの掲載のため
Thames & Hudson	画像利用	2024年秋出版	出版物『The Colour of Clothes』(Cally Blackman 著)に図版掲載のため
毎日新聞社	取材・撮影	2023/10/6～	毎日新聞朝刊「アートを歩く」掲載のため
共立女子大学・短期大学 大学企画課	撮影	2023/10/11	大学案内 2025 に掲載する写真撮影のため
スフマート編集部 (株)ミュージアムマン内)	取材・撮影	2023/10/15～	情報サイト「スフマート」取材レポート欄にて当館展示をご紹介いただくため
三菱一号館美術館	画像利用	2023/10/13～	三菱一号館美術館 SNS で当館展示をご紹介いただくため
共立女子大学・共立女子短期大学 櫻友会	画像利用	2023/11/13～12/15	同窓会紙『桜の友』第72号(2024年4月発行)の表紙等に使用のため
共立女子大学家政学部 関智子	熟覧	2023/11/21	共立女子大学博物館紀要執筆のため
大阪公立大学都市文化研究センター 松井宏枝	画像利用	2024/3/31～	学術雑誌『日本研究』68集掲載論文「昭憲皇太后の最初の国産大礼服」に使用のため
ハースト婦人画報社	画像利用	2024/1/10～	婦人画報デジタルの展覧会情報コーナー、美しいキモノ SNS で当館展示をご紹介いただくため
スフマート編集部 (株)ミュージアムマン内)	取材・撮影	2024/1/11～	情報サイト「スフマート」取材レポート欄にて当館展示をご紹介いただくため

### 3) 団体利用

団体名	見学日	人数
基礎ゼミナール_02 (家政学部被服学科)	5/11	31
基礎ゼミナール_03 (家政学部被服学科)	4/10	32
基礎ゼミナール_01 (家政学部被服学科)	5/18	31
染織文化研究室 (家政学部被服学科)	4/26	9
共立女子第二高等学校	4/25	10
テキスタイルデザイン実習 (生活科学科)	5/10	14
織田きもの専門学校	6/9	25
CS 研 教育システム分科会	6/16	44
染織品保存修復実習 (家政学部被服学科)	10/3	19
ファッションデザイン演習 (生活科学科)	10/5	23
博物館情報・メディア論	11/20	35
日本衣服学会第74回年次大会	10/28	30
小川ゼミ (ビジネス学部)	11/15	14
NPO 法人令和塾学習会	2024/1/9	25

### 4) 博物館実習

実習人数 36名 (家政学部：8名・文芸学部：19名・国際学部：9名)

実習日程 神田一ツ橋キャンパス5日間 (うち3日間は集中講義)

実施期間 5月～11月

集中講義 第1グループ (G1～5) 6/26～28 第2グループ (G6～9) 11/8～10

G1：5/22,23 G2：5/29,30 G3：6/5,6 G4：6/12,13 G5：6/19,20 G6：9/28,29 G7：10/5,6

G8：10/19,20 G9：10/26,27

#### 実習内容一例

第一日目	午前	オリエンテーション・施設・設備についての実習 館の概要説明 施設・設備の見学と課題の検討 (利用者動線、バックヤード、空調、セキュリティなど)
	午後	資料管理業務に関する実習① 博物館資料の取り扱い実習 (作品撮影・展覧会準備など)
第二日目	午前	資料管理業務に関する実習② 博物館資料の取り扱い実習 (作品撮影・展覧会準備など)
	午後	展示業務に関する実習① 模擬ギャラリートーク、キャプション模擬制作など
第三日目 (集中講義)	午前	展示業務に関する実習② 展覧会の制作について
	午後	博物館業務に関する実習① 博物館資料の情報管理について (作品管理システムについて)
第四日目 (集中講義)	午前	博物館業務に関する実習② 環境管理・文化財防災について
	午後	展示業務に関する演習③ 展覧会制作の演習
第五日目 (集中講義)	午前	博物館業務に関する演習③ 広報について、教育普及について (プログラムの検討)
	午前	展示業務に関する演習④ 展覧会制作の演習 (発表)



---

## 3. 資料管理

---

### 1) 資料収集

武家服飾	八代松井家伝来	12点
婚礼衣装	昭和初期	4点
和裁用教科書	大正8年刊行	1点
洋裁用教科書	昭和3年刊行	1点

### 2) 環境調査

調査対象：神田一ツ橋キャンパス2号館博物館  
八王子キャンパス10号館保管庫

調査期間：前期) 5月17日(水)～8月1日(火) 77日間  
後期) 10月12日(木)～11月14日(火) 34日間

調査内容：浮遊菌・付着菌・浮遊塵埃調査  
歩行性・飛翔性用バグトラップ設置及び調査

調査業者：東化研株式会社

### 3) その他

丸紅株式会社からの「共立女子学園フューチャーズ募金」(教育研究振興基金)により、以下の活動を行いました。

- ・資料保存容器の作成
- ・デジタルアーカイブを目的とした資料撮影

## 4. 運営・組織

### 1) 博物館規程類

#### 共立女子大学博物館規程

(趣旨)

第1条 この規程は、共立女子大学学則第55条により設置された共立女子大学学則第55条により設置された共立女子大学博物館（以下「博物館」という。）に関する基本事項を定める。

(目的)

第2条 博物館は、本学における教育研究等の使命を達成するため、必要な学術資料および関連資料（以下「資料」という。）の収集、管理、展示等を行い、教職員、学生およびその他一般の利用に供することを目的とする。

(事業)

第3条 博物館は、その目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 資料の収集、管理および調査研究
- (2) 展覧会、講演会等の開催
- (3) 学内外の教育研究および利用に関する支援
- (4) 出版広報活動
- (5) その他博物館の目的達成のために必要な事業

(館長)

第4条 博物館に館長を置く。

- 2 館長は、教授のうちから学長が推薦し、理事長が任命する。

3 館長は、館務を掌理する。

4 館長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期中に退任した場合の後任者の任期は、その残任期間とする。

(運営委員会)

第5条 博物館運営の基本事項に関して館長の諮問に応じるため、博物館運営委員会を置く。

2 博物館運営委員会の規程は、別に定める。

(職員)

第6条 博物館に職員を置く。

2 職員のうち1名は、学芸員資格とそれに基づく実務経験を有する者とする。

3 職員について必要な事項は、共立女子学園事務局事務規程をもって別に定める。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、博物館の運営に必要な事項については別に定める。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、館長の提議により理事会の承認を得るものとする。

付則

この規程は、2020年4月1日より施行し、従前の「共立女子大学博物館規程」は、2020年3月31日をもって廃止する。

#### 共立女子大学博物館運営委員会規程

(目的)

第1条 この規程は、共立女子大学博物館規程の第5条第2項に基づき、共立女子大学博物館運営委員会（以下「委員会」という。）に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(組織)

第2条 委員会は、次の運営委員（以下「委員」という。）をもって組織する。

- (1) 館長
- (2) 学部・科より推薦された専任の教員 各1名
- (3) 館長が必要に応じて推薦した専任の教員 2名以内
- (4) 教育学術推進課長

2 委員は、学長が任命する。

(任期)

第3条 委員の任期は、2年とし再任を妨げない。ただし、委員の欠員により補充された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、館長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、議長となる。

3 委員長は、必要に応じ、委員以外の者に会議への出席を求めることができる。

(会議)

第5条 委員会は、原則として年2回以上開催するものとする。

2 委員会は、委員の過半数の出席により成立する。

(議事の報告)

第6条 委員長は、協議された事項について学長に報告する。

(事務)

第7条 委員会の事務は、教育学術推進課が行う。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、館長の提議により、常務理事会の承認を得るものとする。

附則

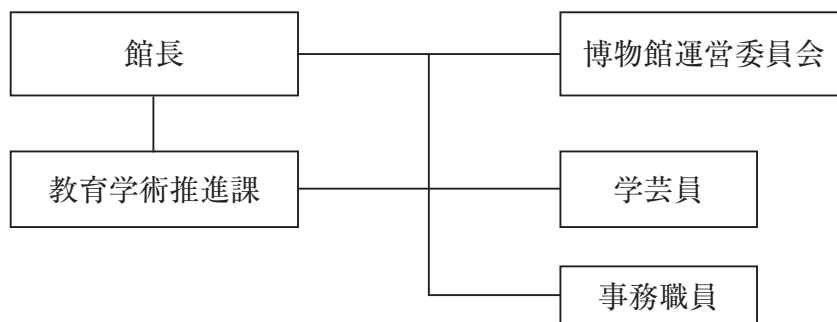
この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附則

この規程は、2020（令和2）年9月1日から施行する。

## 2) 組織・委員会

### 【組織図】



【博物館運営委員会】（任期2年：2022年4月1日～2024年3月31日）

※2023年4月1日～2024年3月31日

### 委員

委員長	博物館長	長崎 巖
委員	家政学部	田中 淑江
委員	文芸学部	近藤 壮
委員	国際学部	橋川 俊樹
委員	看護学部	山住 康恵
委員	ビジネス学部	小川 宏幸
委員	建築・デザイン学部	福田 一郎
委員	生活科学科	山口 庸子
委員	文科	菅生 早千江※
委員	教育学術推進課	村居 昌俊

### 活動記録

第1回 開催日：7月20日（木）

第2回 開催日：2024年3月6日（水）

## 3) 施設概要

### 神田一ツ橋キャンパス

展示室	79㎡
収蔵庫（前室を含む）	71㎡
事務室	43㎡

### 八王子キャンパス

保管室（第一・第二）	190㎡
------------	------

#### 4) 利用案内

開館時間：月～金曜日 10：00～17：00、土曜日：10：00～13：00

休館日：日曜日・国民の祝日、大学が定める休日、展示入替期間

入館料：無料（2号館1F受付でお申し込みください。）

アクセス：東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」駅 A8 出口徒歩1分

東京メトロ東西線「竹橋」駅下車 1b 出口徒歩3分

※駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください。

所在地：〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-1 共立女子学園 2号館 B1F

問合せ先：Tel：03-3237-2665

Fax：03-3237-2633

mail：muse.gr@kyoritsu-wu.ac.jp

ウェブサイト <http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/muse/>

